

論文審査の結果の要旨

報告番号	博(医歯薬)甲第 1193 号	氏名	山口 大樹
学位審査委員	主査 村田 比呂司 副査 中村 渉 副査 神津 玲		
論文審査の結果の要旨			
<p>1 研究目的の評価 本研究は、唾液誤嚥による誤嚥性肺炎を防ぐため過去に報告例のない唾液貯留患者の病態解析に焦点をあてたものであり、目的は十分に妥当である。</p>			
<p>2 研究手法に関する評価 標本選択における種々のバイアスの可能性についても考慮し、制限のある中で妥当な統計学的解析法を選択し解析したものであり、研究手法も妥当である。</p>			
<p>3 解析・考察の評価 上記手法で解析した結果、唾液貯留患者には喉頭挙上不良や食道入口部開大不全などの機能低下が影響していることが示唆され、今後の摂食嚥下障害患者の機能改善や誤嚥性肺炎リスクの低減が大いに期待される。</p>			
<p>以上のように本論文は摂食嚥下障害の研究に貢献するところが大きく、審査委員は全員一致で博士（歯学）の学位に値するものと判断した。</p>			